

連合神奈川第32回年次大会 2020年11月6日（金） ワークピア横浜

連合神奈川は11月6日（金）、ワークピア横浜において代議員・役員あわせて107名の出席により第32回年次大会を開催し、「2021年度活動計画」を満場一致で決定しました。今回の年次大会は、8月に開催された中央委員会同様に、代議員の人数を減らすなど参加規模を縮小し、新たな集会ガイドラインに沿った形での開催となり、会場を2つに分けるなどの対応をとり開催されました。



議長団に菊地代議員（電力総連）と増田代議員（自動車総連）が選出され、冒頭の吉坂会長の挨拶では、①この一年間コロナ禍の中で様々な対応を行い、人々や社会に大きな影響を与える中で、労働組合活動や連合運動も大きく環境変化を余儀なくされた。どのような状況にあっても連合の組織力の発展を求めため、多くの方の総意を得ながら私たちから変化していく必要がある②今こそ働く仲間を守る活動が重要である。新型コロナウイルス感染症の影響で、雇用が脅かされている。弱い立場で働く全ての仲間に集団的労使関係を構築することが大切である。③政治活動に積極的に取り組むことの3点について述べられた。

議事においては、第1号議案が林事務局長から、第2号議案が阿部副事務局長から提案され、その他、役員補充、地域連合連結決算導入と特別会計新設、大会スローガン、大会宣言と、全ての議案を決定された。



記：高橋 和彦